

研究名

「子どもリエゾン室」を受診したケースにおける

Bio-Psycho-Social Assessment (生物・心理・社会的要因の総合的なア セスメント) の検討

* 研究課題名: 「子どもリエゾン室」を受診したケースにおける Bio-Psycho-Social Assessment の検討

1. 研究の目的

小児のコンサルテーション・リエゾンは、子どもの発達・心理的支援、環境調整など多様な役割を求められています。当院当科では、2022年1月より子どもリエゾン室を開設し、地域の医療機関や教育・福祉機関との連携を行い、生物・心理・社会的要因の総合的なアセスメントに基づく支援を行っています。今回2022年1月6日～2024年3月31日に当院子どもリエゾン室外来を受診された患者さんを対象に、相談いただいた内容やこれまでの相談歴などを後方視的に検討させていただきます。

2. 研究の方法

研究対象：2022年1月6日～2024年3月31日の間に当院子どもリエゾン室外来を受診した方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2025年3月31日

研究方法：

1. 研究対象者について下記の臨床情報を診療録より取得します
 - ・性別、年齢、就学状況、受診に至った相談内容、過去の相談歴など
 - ・当外来で行ったアセスメントや連携先など
2. 年齢、疾患名、治療、相談履歴、これまでの心理社会的アセスメントの有無、今回のリエゾン室における診療情報などを用い、**生物・心理・社会的要因**身体・心理・社会的側面から**精神・発達行動面に影響する要因**を分析します。

3. 研究に用いる情報の種類

診療情報：性別、年齢、社会状況（就学状況など）、主訴等。（この際、生年月日、カルテ番号、住所、氏名などの個人を特定するような情報は研究に用いません）

収集した情報は、氏名・IDなどの個人情報を削り、新たな番号をつけ、どなたのものかわからないようにします。その上で、当センター内のパスワードロックのかかるサーバーに保管します。ただし、必要な場合には番号を元の氏名等に戻す操作を行います。患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4．情報の公表

本研究の成果は日本小児科学会、小児心身医学会などで発表する予定です。また小児医療領域の専門学術誌で論文として公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、**2024年8月31日までに**下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を**承諾されない拒否する**場合の連絡先：

小児内科系専門診療部 こころの診療科 医師 小川悠

小児内科系専門診療部 こころの診療科 部長 田中恭子

住所：東京都世田谷区大蔵2-10-1

メールアドレス：kokoro.kodomoliaisn@gmail.com

研究責任者：

小児内科系専門診療部 こころの診療科 医師 小川悠